



平成 31 年(2019 年)2 月 28 日(木) 養護教諭 宮崎 真紀

「命」の大切さを伝える保健指導を行いました



「あなたがだいすき」

りす組の指導では「あなたがだいすき」という絵本を読みました。いろいろな動物たちが「あなた」を大好きだと言ってくれ、抱きしめてくれたり、守ってくれたり、いつだってあなたの味方だと言ってくれます。

主人公の「あなた」は、「みんな」です。誰もが、このように愛されているのだと実感できるとよいですね。



「いのちはいくつ？」

くま組の指導では、オタマジャクシの命をテーマにして、命は一つしかない、大切なものなのだ、ということ伝えました。「死んだオタマジャクシはカエルにはなれない」という事実は、幼児にとって衝撃的なことで、その話をしているときは、シーンと静まり返って聞いていました。命の大切さを感じてくれたと思います。



「いのちはどこから？」

ぞう組の指導では、妊娠中の保護者の方をゲストにお迎えして、命の誕生について伝えました。お腹の中の赤ちゃんについて、とても愛おしそうにお話してくれたお母さんの表情を見て、子どもたちは、きっと自分たちがお腹の中でも、そして生まれてからもずっと大切に育まれてきたことを実感してもらえたと思います。



毎年提出をお願いしている、「アレルギー調査のお願い」を配付しています。必要事項を記入して、**3月8日までに幼稚園に提出してください。**

来年度、アレルギーの個別対応を希望される場合は、医師の診断を受け、「学校生活管理指導表」の提出もお願いします。詳しくは養護教諭 宮崎までお声掛けください。